

校長室だより

平成30年 2月23日(金)

羽咋市立瑞穂小学校 No.10



共 育

こよみの上で節分、立春を過ぎてはなお、記録に残る大雪の日が続き休校や行事の予定変更など、保護者の皆さまには大きなご負担をおかけしました。

2月13日(火)の今年度最後の授業参観、教育活性化プラン報告会およびPTA総会にご参加くださりましてありがとうございました。その折にもご説明いたしましたが、本校の教育活動の成果と課題について、今年度新たに試みた内容を中心にご紹介いたします。

<知・学力向上について>

○は成果、●は課題を示す

- 「学びと心のほっぺんノート」に学んだことや感じたことを書きつづり自分の成長を見られるようにしたことで、学習に向かう意識の向上が図られた。
- タブレットやホワイトボードを使って児童同士が学び合う場面を多く取り入れることで、学力の向上につながった。
- 学んだことを生活の中で生かす場面を作り、学習が役立ったと実感できる機会を増やすことが必要。



<徳・こころの育成について>



- 学年を越えて同じテーマについて語り合う「ブロックほっとタイム」や「おうちでほっとタイム」、人権に関する本の読み聞かせを通して、児童の心の成長が見られ、道徳的な価値について深く考える姿勢ができてきた。
- 縦割り班活動やあいさつ列車、ピアサ

ポート（児童同士の相談活動）などを通して児童同士の絆が深まり、自己肯定感も向上した。

- 「みずほスマイル通信」や生活チェックを通して家庭との連携を強めたことで、児童の心の成長が促された。
- 児童会や委員会活動を中心とした児童主体の活動を工夫し、さらなる取組の充実が必要。

<体・体づくりについて>

- 石川県下全域で取り組んでいる「スポチャレいしかわ」（各学年で記録を競い合う活動）に年間通して計画的に取り組み、目標を持って体力の向上を進めることができた。
- 生活チェック項目の一つをPTA生活指導委員会に決めていただき、連携して取り組むことができた。



- 生活チェックの「早寝」の達成率が他の項目と比べて低かった。就寝目標時刻の設定を各ご家庭の状況に応じて考えるなどの手立てが必要。

<小中との連携・人材育成について>

- OJTタイム（校内研修）を通して、1学期は各教職員の得意分野について、2学期は教科指導や次期学習指導要領について研修をすることができた。
- 2学年括り「ブロックほっとタイム」の考えを出し合う場面で、児童への働きかけ方を研究するなど、教師の指導力の向上につながった。



- 複数の保育所・幼稚園から入学することを考慮し、個々の学びや育ちの状況を把握しながら、園児がスムーズに小学校生活に馴染むための「スタートカリキュラム」の作成が必要。

平成28・29年度と2年間にわたる人権教育の研究成果が、ご家庭や地域のご協力で、児童の姿として見られるようになったことに感謝申し上げます。

今後も研究成果を生かしながら、自分も周りの人も大切にできる心を育て、自分の夢をかなえるために必要な力を身に付けた児童の育成を目指して教育活動を進めて参ります。